

<学校教育目標>学ぶ楽しさ 遊ぶ楽しさ つながる楽しさ

<本校の目指す子ども像> 自分大好き・友だち大好き・学校大好き

◆主体的に学習に取り組み、よく考える子◆認め合い、励まし合って仲良くする子◆運動に親しみ、健康で安全な生活を営む子

学校だより

10月号

令和6年(2024年)10月11日
豊中市立豊島小学校

明日は運動会



ようやく秋らしくなってきました。芸術の秋と言いますが、本校では運動会に向けてのリハーサルが終わり、いよいよ明日は運動会です。1カ月余り、努力した成果が存分に発揮され、全力で頑張る姿を見せてくれると思います。保護者の皆様もお忙しいと思いますが、それぞれの学年の取り組みの成果をご覧いただき、たくさんのご声援をお願いいたします。

また、近隣の方々には、お休みのところ音楽や子どもたちの声が響くと思いますが、ご容赦ください。

子どもたちが怪我なく、楽しい一日になりますよう、ご協力をお願いいたします。

※PTA や学校からの案内をご覧いただき、映像や写真等は個人情報保護の観点から SNS 上にアップするなどは差し控えてください。

※観覧等は譲り合いながら、子どもたちの応援をお願いします。



持ち物の用意は宿題です



各クラスを巡回していると授業中に鉛筆を削る様子がみられます。鉛筆を削るのはお家での宿題です。朝学習があるときに、朝から使うことができる鉛筆がないのはかなしいです。持ち物の用意はお家での宿題です。学習用具が揃うようにご協力をお願いします。

また、学校に必要なものを持参している児童もたくさん見かけます。小学校では、シャープペンシルやボールペンは使用しません。筆記用具以外でも同様です。学校の学習に必要なものを持って来ないようにしてください。紛失した場合があります。大切なものや壊れて困る宝物は学校に持って来ないようにしてください。

服装の乱れは心の乱れへ

日本人には、ドレスコードを守るという習慣が昔からあります。場所やシーンに合わせた服装をすることは必要であると思います。周りの人への配慮を考慮するためです。結婚式やパーティーなどのフォーマルウェアもきちんとしてないと恥ずかしい思いすることがあります。体育の時は体操服、習字の時は黒い服(汚れてもよい服)、校外学習の時は、動きやすい服装等、子どもたちが学校で過ごすときには、動きやすい服装が一番良いと考えます。心の乱れは、服装からくることもあります。決

して、自由を束縛することを考えているわけではありません。すべての児童が楽しく安全に活動できるようにしていきたいと考えているだけです。今は、SNSを子どもたちは使いこなさず、情報過多で、かっこよくありたいと思う気持ちが強いかもしれません。それは、大人でも同じですが、もう一度学校に行くときの自由な服装（私服）について考えていただきたいです。



人権教育を大切に！



本校は、人権教育にも力を入れています。夏季研修には、人権について教職員も研修を受講し学びました。子どもたちの「元気調査」から、以下の課題があると考えています。

- ・自分に自信が持てず、自己肯定感が低い
- ・友だちに心ない言葉をかけてしまう
- ・周りの反応を気にしすぎて、友だちとの関係を上手く持てない

などの課題を踏まえ、一人ひとりが自己肯定感を高め、相手の気持ちを想像する力を育み、互いに認め合うことができるように取り組みを進めていきます。

子どもたちは一人の人間として、それぞれ個性があります。我々も個性や特性があります。子どもも大人も同じです。周りの人と感じ方や思いなども当然違うこともあります。その中で、それぞれの個性を生かし、互いに認め合い、個性を大切に、みんながつながり合える集団づくりをめざして取り組みを進めていこうと考えています。特に、豊中市はインクルーシブ教育、「共に学び共に育つ」を大切にしています。校内の「大きな木」（通級指導教室）を活用し、児童一人ひとりの困り感の解消にも力をいれています。

さらに支援教育を充実させるためにも、教職員も研修等を行い、今後を見据えた支援教育を学んでいます。また、子どもたちも自分と違うものを排除するのではなく、ともに学ぶことを考える心を育てていきます。他の考え方を排除しようとするようすは、しかし本来は、違いを認め、互いを尊重する気持ちが大切なはずです。人は十人十色です。考えや思いも違います。しかし、人として大切にしなければならないのは、すべての人は法の下に平等だという事に繋がります。人によって得意不得意、または、できる、できないはあります。それぞれの友だちの課題や自分の課題も認め尊重できるようになってほしいです。

本校でも、友だちのことを心ない言葉で傷つけてしまうことがあります。何故、友だちのことをそのように傷つけてしまったのか、みんなで考えることが大切です。学校にはいろいろな友だちがいるからこそ、学びが深まります。すべての子どもたちが同じ学力、同じ思いであったとしたら、学校生活はとても単調なものになるでしょう。意見をたたかわせたり、間違ったりすることで、正しい答えを見つけたときの喜びは大きくなります。学校を好きだといってくれる友だちも、また登校しにくい友だちも、みんなで温かく応援や協力ができる集団をめざして引き続き取り組んでいきます。

